

田原市ぐるりんバス「野田線」の変更について

協議内容

1. 路線名（案）：サンテパルク線



第2次田原市地域公共交通戦略計画の一部見直しの必要性に「観光施設等に配慮した公共交通網の必要性が増した」と記載した。これは、平成27年10月の再編時に、田原駅からサンテパルクの直行便（西部線）をなくして野田線に変更し、伊良湖本線から乗り継いで行くように設定したが、サンテパルクバス停の利用者は激減（5,195人⇒322人）し、入場者数も減少したことからである。

再編後、サンテパルク直行便の要望が数多くあったこと、市内来場者第2位の観光施設へのアクセスは特に重要といった観点等から、「サンテパルク線」として、市外からの来場者の乗車の際に分かりやすい路線名にするものです。

2. 運賃（案）：200円

集落から市街地に直接行くことができるようになるため、現在の「野田線」のフィーダー機能であるための運賃100円ではなく、他のぐるりんバス（市街地線を除く）同様の運賃200円にするものです。

また、条件として、幹線と競合しないよう、伊良湖本線沿いにはバス停（野田・雲明集会所）を設置しないものとします。

【その他200円に設定した理由】

- ・ 田原駅⇄野田間は、伊良湖本線の14分（380円）と比較し、（仮称）サンテパーク線は33分（野田小学校⇄田原駅）と乗車時間が長いことから、200円であっても本線と競合して、すべてのお客を奪うようなことはない。
- ・ 野田線をフィーダーとして路線を付設したものの、伊良湖本線を利用して田原市街地に行く乗客が思うように増えなかったこと（料金・乗継が主な原因）
- ・ 平成27年10月の再編時に運賃を100円から200円にしたことにより利用者が減少したことから、200円より高い運賃設定は困難である。
⇒乗らない路線は作らない。